

# 令和5年度 後期 学校評価アンケート結果

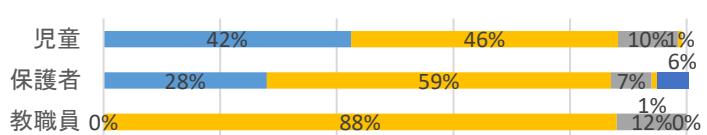
令和6年2月2日  
京都市立西野小学校  
校長 山田 雅彦

令和5年度の後期学校評価の結果と考察をお知らせいたします。保護者の皆様には、Microsoft Forms による学校評価へのご協力、誠にありがとうございました。本紙では、児童・保護者・教職員を対象に行った同じ質問項目の結果を並べて、その結果と考察をお知らせいたします。なお、グラフの割合は左から「よくできている」、「だいたいできている」、「あまりできていない」、「できていない」、「わからない」としています。

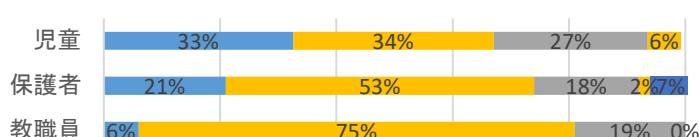
## 1 授業中、めあてに向かって進んで学習している



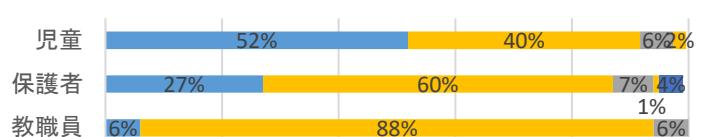
## 2 授業中、自分の考えをもてている



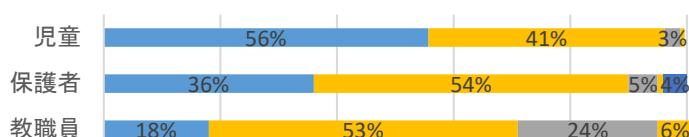
## 3 思ったことや考えたことを発表できている



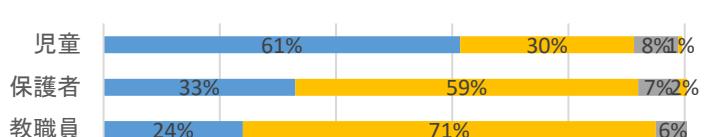
## 4 授業がわかり、楽しく学習している



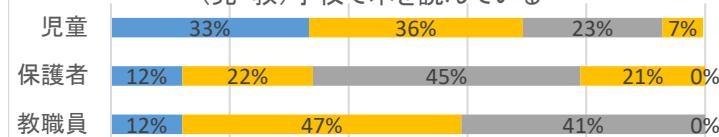
## 5 先生や友だちの意見をしっかり聞くことができている



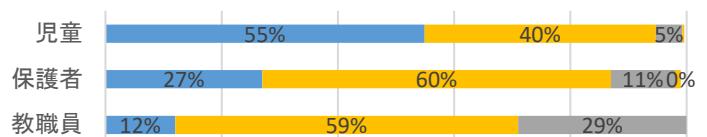
## 6 家で宿題や勉強をしている



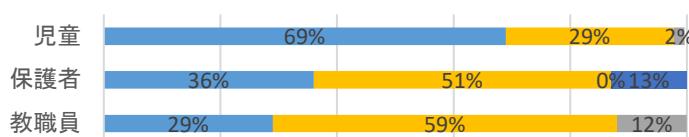
## 7 (保)家で本を読んでいる (児・教)学校で本を読んでいる



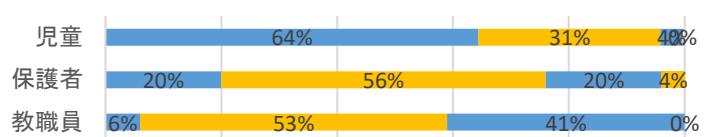
## 8 約束やルール、マナーを守っている



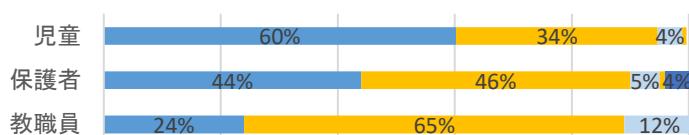
## 9 そうじや給食などの当番活動を進んでしている



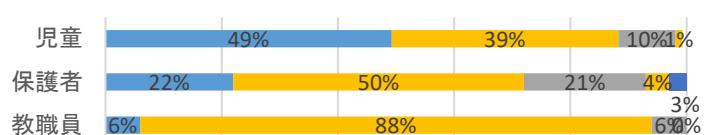
## 10 物を大切にしている



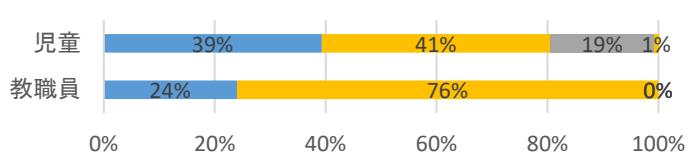
## 11 友だちを傷つけることなく、大切にしている



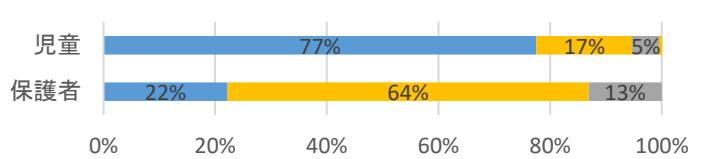
## 12 自分からあいさつをしている



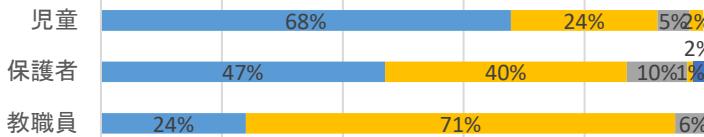
## 13 (児)学校で先生と話している (教)子どもと話をする時間もっている



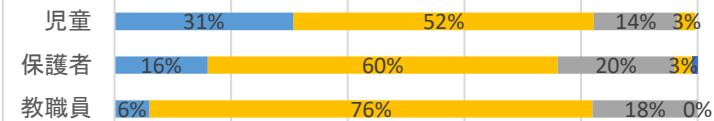
## 14 (児)家の人と話している (保)子どもと話をする時間もっている



15 (児・教)学校で楽しく過ごしている  
(保)子どもは、学校が楽しいと言っている



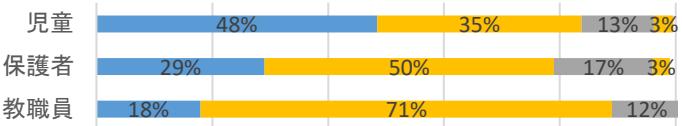
16 忘れ物をしていない



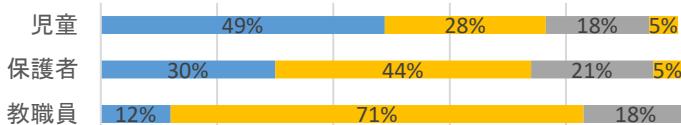
17 健康に気をつけている



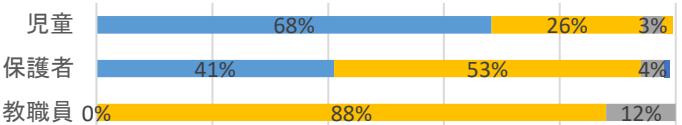
18 好き嫌いせずに食べている



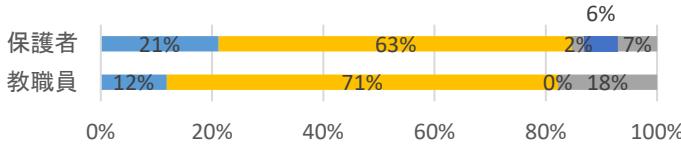
19 進んで運動をしている



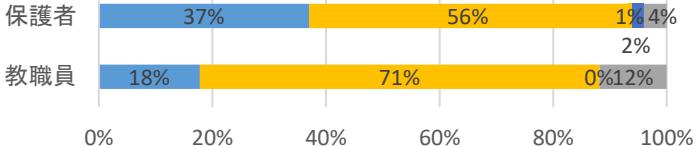
20 安全に気をつけて過ごしている



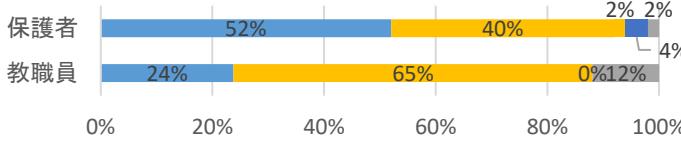
21 学校・家庭・地域が連携して子どもを育んでいる。



22 学校は、学級・学校だよりやホームページで学校の様子を伝えている。



23 (保)教職員は気軽に質問や相談がしやすい  
(教)保護者が気軽に質問や相談がしやすいように関係づくりをしている



保護者自由記述欄より

今回も肯定的なご意見をたくさんいただき、学校といたしましても大変嬉しいです。引き続き一人一人を大切にしていく教育を進めて参ります。

- ・担任の先生にはいつもお世話になり、あたたかく見守っていてもらい助かっています。いつもありがとうございます。
- ・部活動の試合など学校がお休みでも何人も先生が応援に来て下さってとても感謝しております。いつもありがとうございます。
- ・塾では教えてくれない大切な教育を全力で下さった事、必ずフォローがある事、目標を持つ大切さ、自分の弱さを乗り越えたら必ず結果が出る事を親も子も学ばせて頂き、勉強だけではなく人間としても熱く丁寧に教育して下さった事にとても感謝しています。本当にありがとうございます。
- ・そして、子供の意見を真摯に聞いて下さる校長先生、教頭先生、、子供にとって大切な思い出が沢山できたと思います。
- ・西野だよりに、次の月の予定を分かる範囲でいいので、載せて欲しいです。
- ・保護者の皆様に関連する主な行事は載せるように致します。

結果の分析

以下の分析に関しまして、便宜上「よくできている」をA評価、「だいたいできている」をB評価、「あまりできていない」をC評価、「できていない」をD評価として記述いたします。

設問8「約束やルール、マナーを守っている」かでは、児童のA評価が55%、保護者27%、教職員6%となっています。学校教育目標の「豊かな人間性」にも関わる設問となります。3者とも胸を張って「できている」とA評価をつけられないのが課題と言えます。ともすれば、学力よりも大切にすべき点です。「約束は必ず守る」、「ルールに従って行動する」、「自分の利益を優先させず、周りの人が気持ちよく過ごすためにマナーを守る」ということを大人は改めて子どもたちに教示し、人間性が高まった子どもたちを見て、わたしたち大人も高い評価がつけられるようにしたいですね。

設問19「進んで運動をしている」かでは、児童のAB評価が77%、保護者74%、教職員83%となっています。寒い冬でも休み時間には外に出て元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られる一方、室内で過ごしている子どもも少なくありません。コロナ禍では、外出や人との距離が制限されて、運動する機会も減っていたでしょうが、制限が解けた今、体力向上の面から継続的な運動は必要です。基本的生活習慣である食事・睡眠・運動を大切にし、健康的な生活を送れるようにしてほしいです。

設問23「(保)教職員は気軽に相談がしやすい」か、「(教)保護者が気軽に質問や相談がしやすいように関係づくりをしている」かでは、保護者・教職員両者ともAB評価が90%前後に留まっています。学校と家庭の両輪から子どもを育てることが健全な育成につながります。保護者と教職員には信頼関係で結ばれていなくてはいけません。しかし、それは言っても保護者の皆様から見れば、我々の仕事に諸手を挙げて賛同していただけることばかりではないこともあると思います。その時は是非対話を重ね、間にいる子どもにとって一番良い道を模索していきたいです。

今回の保護者の皆様の学校評価アンケートの回答率は42%でした。前回の66%から大幅に下がってしまいました。今後もFormsを使ったアンケートを継続していく予定ですので、保護者の皆様には是非ご協力いただき、お声を学校に届けてくださいますようよろしくお願いいたします。